

「高校生の美術」に 込めた想い

「高校生の美術」シリーズの4名の著者の先生方に
教科書を編集する上で意識した点や、教科書に込めた想いについてお伺いしました。

実感を伴った造形的な見方・考え方

村上尚徳

生徒にとって、描くことやつくること、鑑賞することには、どんな意味があるのでしょうか。「高校生の美術」では、表現や鑑賞の活動を通して、ものを見る視点に気付いたり、美術に関する考えを深めたりすることを大切にしています。このような学びが自覚できるよう、各題材は、作品を比較したり言葉で解説したりする中で、ものを見る視点や考える視点が実感できるように構成しており、これは新しい学習指導要領が示す「造形的な

見方・考え方」に位置付けることができます。また、美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと学習が進む中で、学びがより深まり、個性が追求できるように題材を配列しています。

むらかみ・ひさのり

愛媛県出身。IPU・環太平洋大学副学長、次世代教育学部教授。1985年より岡山市立中学校教諭、岡山県教育庁指導課指導主事を経て、文部科学省教科調査官及び、国立教育政策研究所教育課程調査官。2011年より現大学に。中学校学習指導要領（平成29年告示）【美術編】改善協力者。



中学美術の接続と 芸術科美術の 深まりを意識

横田 学

特に「高校生の美術1」は、中学校美術との学びの連続性と高等学校としての専門性の両立を目指しました。豊富な題材構成、親しみやすい参考作品やコラムなどは、生徒の主体的なやる気に、充実した美術史や技法資料は実感的な深い学びにつながることを期待しています。

よこた・まなぶ

兵庫県出身。京都市立芸術大学美術学部教授。1980年より京都府立学校教諭、京都府教育庁指導部学校教育課指導主事を経て、2002年より現大学に。高等学校学習指導要領（平成11年、21年、30年告示）【芸術（美術 工芸）編 美術編】改善協力者。



自己を見つめ、 社会への視野を 広げて

安田 淳

生徒が主体的に作品を描いたりつくったり、鑑賞したりする美術の学習で、“美術を学ぶ”ことだけではなく、“美術で学ぶ”ことによって、自己の内面を深く見つめ、社会への視野を広げられるような題材の工夫と授業の展開に期待して「高校生の美術」を作成しました。

やすた・あつし

石川県出身。石川県立工業高等学校デザイン科教諭。1986年より石川県立高校教諭、石川県教育センター指導主事を経て、2016年より現職。高等学校学習指導要領（平成21年、30年告示）【芸術（美術 工芸）編 美術編】改善協力者。



オーソドックスな 作品選定による 定番教科書

中村 美知枝

高校生に知って欲しいオーソドックスな作品を中心に選定し、美術史や技法なども含めて幅広く掲載したらボリュームのある本になりました。この本を開いた高校生が、美術の世界の広がりや可能性にワクワクした思いを持ってくれたらと願っています。

なかむら・みちえ

東京都出身。東京都立文京高等学校教諭。1988年より東京都立高校教諭、2019年より現職。高等学校学習指導要領（平成21年告示）【芸術（美術 工芸）編 美術編】改善協力者。



接続と深まり

「高校生の美術」シリーズでは、美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと段階を追って学びが深まっていくように生徒の発達の段階と教科書ごとの接続を考慮した構成になっています。



高校生の美術 1

高校美術の入り口として、多様な美術の分野に幅広く触れてほしいと考えて編集した全154ページの教科書。豊富な題材と掲載作品、通史で掲載する西洋・東洋美術史、ビジュアルな技法資料などを収録しています。

P4



高校生の美術 2

美術Ⅰで学んだ内容を深めたり広げたりできるように編集した教科書。生徒に着目させたい視点をより焦点化して示しています。現代美術にスポットを当てた美術史も特徴で、表紙も現代美術の作品です。

P6



高校生の美術 3

自分らしい美術を追求することを目指した教科書。自分自身や作家の個性および独創性を考えたり、伝統の継承と創造について意識したりすることを通して、美術の見方や考え方を深める内容になっています。

P7

定番題材における接続や深まりの例

	高校生の美術 1	高校生の美術 2	高校生の美術 3
絵画・彫刻	P.6-9 身近なものを描く (表現) 身近なものを見つめ直して、形や色、愛着のあるもののよさや面白さに着目し、構想を練って描く。	P.10-11 質感を捉えて描く (表現) 身の回りにあるものや場面から感じ取ったイメージを、質感に着目して描く。	P.8-9 興味のあることを描く (表現) 自分の興味や関心があることや他者に伝えたいことを、表し方を工夫して描く。
ものを描く題材を1、2、3で個別に設定しています。1では愛着のある身近なものを素直に描くこと、2ではそのものの質感に注目して表現すること、3では自分の興味関心のあるものをよく観察し、表し方を工夫して描くことをねらいに接続や深まりをだしています。			
デザイン	P.84-85 暮らしの中の「使う」デザイン (表現) 身近にあるプロダクトデザインの使う場面や機能、美しさなどに着目して、暮らしの中にある使うものをデザインする。	P.46-47 使う人のためのデザイン (鑑賞) デザイナーのインタビューや、プロダクトデザインの作品を基に、使う人や用途、場面、気持ちなどを考えて形づくられたデザインの工夫を考える。	P.28-29 デザインを支える技術 (鑑賞) プロダクトデザインにおける職人の手わざや現在の新しい技術に着目し、デザインと社会の関係を考える。
プロダクトデザインへの理解を培う内容をシリーズ通して掲載しました。1は身近な文房具や椅子などの機能や形の目的、2では使う場面や心情に寄り添うデザイン、3ではつくる技術や素材などに着目させるねらいを設定し深まりをだしています。			
映像メディア	P.90-93 写真表現 (表現) 表現したいイメージを基に構図や画面構成などを考え、カメラの特性を生かして写真を撮る。	P.54-55 複数の写真で表す (表現) 複数の写真を組み合わせることから生まれる効果を生かして、表したいテーマを創造的に表現する。	P.34-35 報道写真が写し出すもの (表現) 伝えたいテーマを独自の視点で捉えて、写真で表現する。
写真の表現活動に取り組みやすくなるように、1、2、3で切り口を整理して掲載しています。1ではカメラの特性と構図やモチーフを意識すること、2では複数写真の組み合わせ、3では伝えたいテーマから主題を導き伝達の写真を撮ることをねらいにしました。			
美術史	P.101-120 西洋美術史・東洋美術史 西洋と東洋の美術史を通史で紹介。歴史上の出来事と共に美術作品を掲載した美術史年表も収録。	P.60 美術の起源 P.61 アジアの美術 P.62 現代につながる美術 P.63 日本の前衛 時代や地域にスポットを当ててより詳しく紹介。	P.40-41 文化財の保存と継承 歴史上で生まれた貴重な美術作品や文化財をどのように保存したり継承したりしているかを紹介。
1、2、3で切り口を整理して美術史を扱っています。1は時代や様式別に通史で美術史を紹介、2では時代や地域、近現代美術の動向を提示し、3では美術作品や文化財を未来につないでいくために、どのような保存や継承の方法があるのかを紹介しています。			

高校生の美術1

高校で初めて美術を学ぶ高校生に対して、学びの視点を幅広く紹介している教科書です。

あなたの掲載作品や豊富な技法資料、通史での美術史などから、美術の様々な見方や考え方を学ぶことができます。

バランスのとれた表現題材

全国で行われている授業の実態を調査し、取り組みやすい題材から応用的な題材まで、豊富な事例を掲載。

表現題材は絵画・彫刻・デザイン・映像メディア表現の分野をバランスよく設定し、生徒作品も数多く掲載しています。

タイトル

端的なタイトルを心がけ、大きく、読みやすく配置。

ねらい

全題材に、分かりやすく短い言葉で
学習のねらいを示しました。

視点の提示

各題材には、作品の見方や感じ方、考え方といった
学びの視点を簡潔な文章で示しています。



P.6-7 | 身近なものを描く

リンク

作家、作品、技法、美術史などの関連内容を記載するページに素早く移行できるようにリンクマークを記しています。



生徒作品の掲載

生徒作品とコメントを掲載。
同世代の作品や言葉から
よい刺激を受けるはずですよ。

P.70-71 | ポスターで伝える

P.94-95 | アニメーションの手法

多様な鑑賞題材

豊富な題材を用意。見方や感じ方、
考え方が深まるように、
様々な切り口でアプローチします。

実物大で掲載！

P.6 | 「10月の虫と花 スケッチ」

大島理恵

P.45 | 「レースを編む女」

ヨハネス・フェルメール

P.47-50 | 「日傘をさす女」(部分)
クロード・モネ



彫刻分野、デザイン分野には個別のオリエンテーションを設けました。

P.66-67 | デザインの世界



動画も 見られる！

ARアプリ「カザスマート」を使用し、作品にスマートフォンやタブレットをかざすと映像作品を視聴することができます。

P.98-99 | 若冲と今を結ぶ



作品を原寸大で掲載。筆致などの細かい表現の工夫を鑑賞することが可能です。

P.47-50 | 「日傘をさす女」(部分) クロード・モネ

包括的な美術史・技法資料

美術史は簡潔で分かりやすく、美術文化理解の導入となるように。技法は制作のプロセスや用具の扱いなど、基礎的なことから丁寧にまとめました。

美術史

目次

西洋の美術 近代デザイン史
日本の美術 映像メディア史
美術史年表

P.114 | 日本の美術



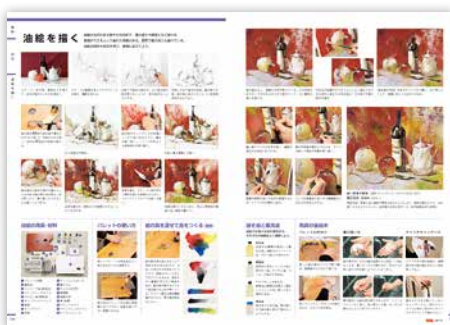
P.101 | 西洋の美術

P.134-135 |
油絵を描く

技法

目次

さまざまな描画材料
鉛筆デッサン
油絵を描く
アクリル絵の具で描く
アクリルガッシュ絵の具で描く
文字の基本
アニメーションの基礎
美の秩序
いろいろな絵の具
水彩画を描く
日本画を描く
版画の種類
写真の基礎
伝える映像表現
色彩



高校生の声から 生まれた表紙

表紙のテーマは「生徒が気に入った作品をコレクションしている情景」。

333人の高校生に好きな美術作品のアンケート調査を実施しました。特に人気の高かった作品19点を表紙に掲載しています。



高校生の美術2

美術Iで学んだことをより深めていく構成です。

表現や鑑賞の際に着目させる視点をより焦点化して示すことで、アイデアを更に掘り下げることが可能となります。



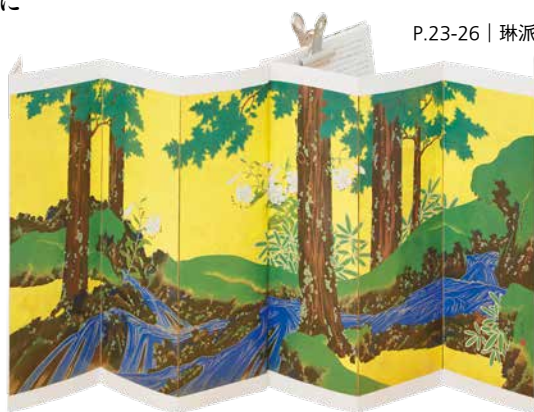
学びを 深化させる 題材構成

美術Iで学んできた内容との
接続を明確にして、発達段階に
沿った、深まりのある題材を
設定しました。

P.10-11 | 質感を捉えて描く

広がりや深まりを持たせた鑑賞題材

作家や時代にスポットを当てた題材や、日本美術の特質やよさを味わう
題材などを設け、理解が深まるように
図版や解説を充実させました。



屏風になります！

P.22-28掲載「琳派」の題材では、P.23-26の「夏秋溪流図屏風」を点線に沿って折り返すと、机上に立たせて鑑賞することができます。

発達段階を意識した 美術史・技法資料

地域や時代に焦点を当てた美術史や、より実践的な
技法、色相環やトーン分類図などの資料を
多数掲載しています。

美術史

目次
美術の起源
アジアの美術
現代につながる美術
日本の前衛

技法

目次
テンペラ画を描く／金箔を使って日本画を描く
エッチングで銅版画をつくる
シルクスクリーンでTシャツをつくる
彫刻の技法／部活動を紹介するチラシのデザイン
コマ撮りアニメーションの技法
紙で立体をつくる／色彩

話題の インスタレーション 作品を表紙に

表紙は、美術家の塩田千春による作品「掌の鍵」を掲載。記憶や人のつながりをテーマに、古い鍵、赤い糸、2艘の古い木船で構成されています。鍵は、世界中に提供を呼びかけ、最終的に集まった鍵は18万個を超えたといえます。



塩田千春さんの
インタビュー冊子は
こちらから



P.34 | 高村光太郎



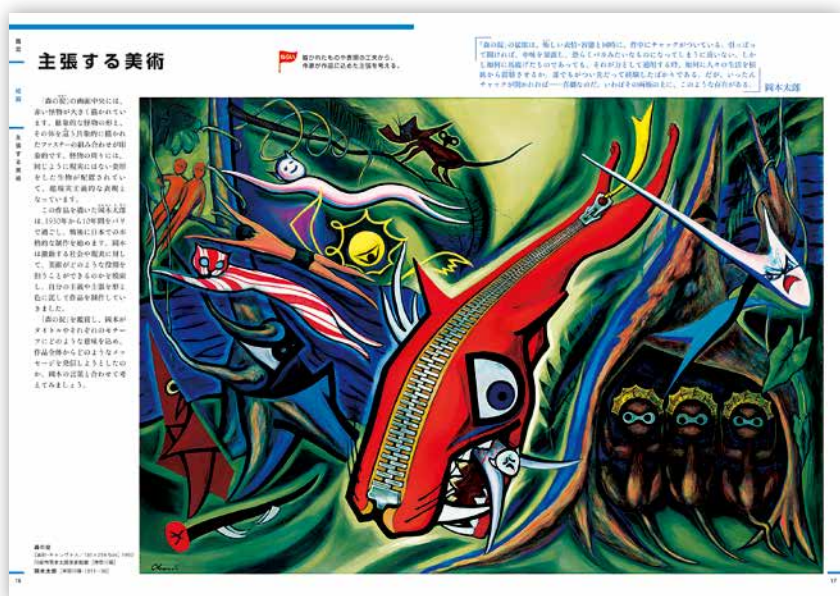
高校生の美術3

高校で学ぶ美術の集大成として、自分らしい美術を追求することを目指した教科書です。今までで培った美術の学びを生かしながら、自分自身や作家の個性および独創性を考えたり、伝統の継承と創造について意識したりすることを通して、美術の見方や考え方を深めていきます。

P.16-17 | 主張する美術

作家の独創性について考える題材

作家作品や作家のインタビュー、作品の制作工程などから作者の表現の意図や工夫を感じ取ったり、自分の表現のヒントになったりするような題材を設定。



伝統文化の継承と創造を意識

伝統文化のよさやその継承について考えさせる題材も多数掲載しています。



P.20 | ものや場所による表現

教科書に穴が空いている!?

P.4-7掲載題材「切り取られた風景」では、教科書の一部が切り取られています。穴をのぞく行為を通して、日本の伝統的な家屋の窓と現代の美術作品を鑑賞し、それぞれに込められた意図や工夫を考えてほしいと考えています。

自分を見つめ直す



今までの制作を振り返り自分を見つめ直したり自己理解を深めたりできる技法ページを用意。

作家の独創性について考える

池田学の「誕生」を掲載。作家はこの作品について「世界中のどんな場所であってもしこりうる自然災害とのかかわり方や、自然との共存などをテーマとしています」と語ります。縦3m横4mの巨大な画面に、多彩なモチーフを緻密に描き込み、波に洗われる巨樹のイメージを構成した作品。



池田学さんのインタビュー冊子は
こちらから

池田学さんのインタビュー動画は
こちらから



教科書のいろは

「高校生の美術」の題材ページは「授業が見える」をキーワードに構成しています。ここでは「高校生の美術1」のページの内容を例に、教科書を読み解くポイントや役立つ見方などをご紹介します。

高校生の美術1

P.18-21 | 人物を描く

授業でよく行われる定番題材といえば「人物画」。「高校生の美術1」掲載の「人物を描く」を例に、様々な授業を想定した紙面構成の工夫や各作品の掲載意図などを、美子先生に読み解いてもらいましょう。

美子先生
教科書を熱心に
研究中!



教科書の主文と ねらいに着目しよう

主文やねらいに示されているポイントは、授業の導入に使えるキーワードがたくさん。制作の上で生徒に意識させたい点でもあります。例えば掲載されている作品を見せて「この人はどんな性格かな?」「表情・ポーズからどんなことが読み取れる?」「作者との関係は?」など問いかけてもよいですね。

導入時の広がり

リンクマーク

関連しているキーワードに貼られているリンクマークをたどり、同じ作家の別作品を鑑賞する。

他ページも参考に

掲載作品数の多さを生かし、「人物を描く」ページ以外の作品も提示し、参考にする。

モディリアーニが描いた少女は目線も姿勢もまっすぐでとても凛としている!

フェルメールの作品は神秘的……黒い背景や光の当たり方のせいかな?

人ともを組み合わせると描くの面白い!

実物大だと細かいところまでよく見えるね!



左: P.13
「ドラ・マールの肖像」
パブロ・ピカソ
中左: P.51
「モナ・リザ」
レオナルド・ダ・ヴィンチ
中右: P.25
「冬のセンプウキ」
石田徹也
右: P.47-50
「日傘をさす女」(部分)
クロード・モネ

人物を描く

自己や他者の内面を表現など工夫してその人らしさを表現

人物を描く

人物を描く

多様な生徒作品

生徒の実態に合わせた多様な授業に対応できるよう、様々な生徒作品を掲載しています。

生徒作品別の授業展開例

- ① 目をよく観察し、気持ちを表した目を描こう。
→ 骨格全体を捉えて人物を描く授業の導入として／人物を描くのに抵抗がある生徒向け
- ② 自分やその人らしさを表すモチーフや色を組み合わせ、自画像・人物画を描こう。
→ 中学校でも人物画を描いた経験がある生徒向け
- ③ 鉛筆を用いて、光や影を意識し、表情を工夫して自画像を描こう。
→ 少ない描画材で実践を行いたいとき

人をじっくり描きたい!

絵は好きだけど自分を描くのは苦手!

構図や色の使い方、
ポーズや表情も
いろいろだ！



掲載作品の バリエーション

掲載作品にもそれぞれの掲載意図があります。
作品毎に掲載のねらいを読み解いていくことで、
生徒の発想・構想をより深める手助けになります。

藤田やシーレのように人物とモチーフを組み合わせたり、画面の切り取り方を工夫したりしてもいいね



掲載作品のねらい

- | | |
|------|--|
| ペイトン | 画家のホックニーを描いた。明るい色彩を用いてその人らしさを演出。 |
| フロイド | 画家のベーコンを描いた。陰影と表情を意識。顔だけを大きく描く。 |
| 安井 | 自画像。顔の向きや目線から作家の自意識が感じられる。 |
| 三岸 | 自画像。タッチや描画材を工夫することで、作家の雰囲気効果が効果的に伝わってくる。 |
| クロース | 自画像。独自の表現方法を用い、写実的に描いた。 |



表現と鑑賞の相互的な学び

表現題材の中にも鑑賞題材に使えるようなトピックがあります。レンブラントの生涯について生徒に解説した後、レンブラントの各自画像の表情やしぐさから、作家の心情を読み解かせるなどをしてよいですね。

ポスターやパッケージデザインなどの実践はしているけれど、デザイン分野の概念や広がりや高校生に教えるのが難しいという声に応えて、オリエンテーションを設けました。

デザインって何だろう、に答える

デザインには様々な分野があり、それは多岐にわたります。表したいことを自由に表すファインアートとは異なり、デザインの分野では、使われる場面や受け取る相手を考えて発想・構想し、制作することが大事であることを意識させます。

デザインって見た目
がよければいい？

ポスターと
絵画って
何が違うの？

キャラクターも
デザイン？

デザインって
結局、何？



オリエンテーションは、デザイン分野の題材を行う前の導入として、また実践を行った後の振り返りとして使ってもよいですね

分類・配置に意味がある

ここではデザインの分野を構造的に理解させるために、教科書の掲載作品を「伝える」「飾る」「使う」「環境」に分類して配置しています。

例えば同じポスターの作品でも「東京オリンピック」と「ジスモンダ」のポスターでは、配置している場所が異なります。これは何故かを生徒に問いかけることで、作品がどのような目的や機能を意識して制作されたか考えるきっかけとなり、デザインの概念について理解を深めることができるでしょう。



左:ジスモンダ
下:東京オリンピック



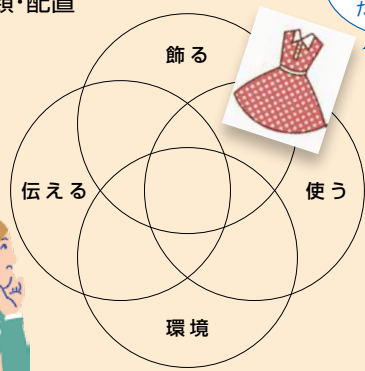
授業展開例

作品や製品の写真を印刷したカードを用意して分類・配置してみよう!

華やかな柄だから「飾る」にも入る?

例えばこんなワンピースだったら……

着るものだから「使う」かな?



オリエンテーションでの学びが生きる

オリエンテーションと題材を合わせて活用することで、生徒の表現や鑑賞の活動に深まりをもたせることができます。

誰に向けたポスター?
どんな情報を伝えたい?

ポスターで伝える



P.70-71 | ポスターで伝える

イラストや写真を用いたり描画材や描き方を工夫したり……

P.72-73 | ポスターで伝える



P.78-79 | キャラクターのデザイン



フォントの選択や配置を迷う生徒には効果的な文字の工夫を考えさせましょう

昔のデザイン様式が分かるポスターとP.121-122「近代デザイン史」を関連付けて解説してもよいですね

デザイナーはこうやってコンセプトを考えたり試行錯誤したりしながらアイデアを練ってるんだね

私だったらどう考えるかな?

活用テクニック

「高校生の美術1」とその教授資料について、全国の先生方に伺った教科書と教授資料の使い方をご紹介します。

美術史を使う

生徒に美術作品の中から1点選択させ、各自が作品について調査し、研究発表するという授業をしています。教科書P.100-124の美術史は質、量ともに充実しており、歴史の流れに沿った著名な作品が数多く掲載されているので、生徒が作品を選ぶ際に参照できます。



技法動画を使う

教授資料の付属DVD収録の技法動画は、私の大事なアシスタント。授業中、生徒が自由に何度でも繰り返し見られるように、常に教卓の上にPCをセットしています。

原寸大作品を使う

P.46-50のモネ「日傘をさす女」は、全図を見せた後に原寸大を鑑賞させます。筆致や混色の方法、影に見えている部分にも様々な色が使われていることなど、生徒が言葉からではなく視覚から様々な気づきを得られます。

目次を使う

授業の最初のオリテンで生徒に目次を見せています。分野ごとの色分けや領域ごとのマークなど、これから学ぶ美術の内容がデザインの的に整理されているので、分野や領域の区分を理解させやすいです。



● …表現 ▲ …鑑賞
■ …オリエンテーション

絵画
彫刻
デザイン
映像メディア
資料

リンクをたどって使う

教科書P.18でレンブラントの自画像のコラムを解説→P.37でレンブラントの銅版画を鑑賞→P.108の美術史でレンブラントが生きた時代やバロック美術について説明……と、リンクマークをたどっていくと様々な角度から1人の作家に迫ることが可能です。

教科書全体を使う

グループ活動で「美術とは何か」「他の表現方法ではなしえない美術特有のものは何か」などを探る手がかりとして教科書を活用します。多くの作品が掲載されているからこそ、多様な意見が生まれます。

生徒のコメントを使う

生徒作品のコメントに注目させています。作者が感じ取ったことや考えたこと、主題、意図やねらいなどが分かるので、生徒が発想・構想する手がかりとして、また相互鑑賞時における自分の作品を解説する手本としても使えます。

ミニ作家の言葉を使う

教科書P.45掲載のフェルメール「レースを編む女」へのミニ作家ダリの言葉を鑑賞のヒントにしています。生徒の作品の見方が単調になっているなど感じたときなどに、ダリの視点を紹介すると、作品への見方や感じ取り方が研ぎ澄まされていきます。



この娘の持つ、目に見えない針を中心に、宇宙全体が回っていることを私は知っている。
サルヴァドール・ダリ



ワークシートを使う

教授資料の付属DVD収録のワークシートをあらかじめ刷っておき、課題が早く終わった生徒の自習用教材にしています。

ページをまたいで使う

風景画の課題では、直接関連のある題材P.14-17「私の見付けた風景」はもちろん、P.42-43「光を捉える」やP.90-93「写真表現」に掲載されている陰影や構図が印象的な作品、さらに具体的な技法表現など、関連する様々なページや作品を追いかけて説明しながら授業を展開しています。





Q & A

現場の先生方から寄せられた「高校生の美術」シリーズに関する様々な疑問・質問に、美子先生が答えます！

Q そもそも教科書ってどう使えばいいの？



まずは本冊子のP.8-11「教科書のいろは」をご覧ください。教科書のページが、実際の授業を想定してデザインされていることがお分かりいただけると思います。教科書の使い方は、先生方によって千差万別です。教科書をどのように使うとよいか、ここをヒントにして、導入や展開、発問などを検討してみてもいいかもしれません。

教科書に掲載されている題材は、全国の高校のシラバスの調査を行った上で、数多く取り組まれているものを中心に構成しています。実際の実践をモデルにしているので、より多くの先生の授業に対応しやすくなっているはずです。

Q ページ数が多くて使い切れない！



この分量は生徒の「知りたい！」と先生の「教えたい！」をしっかりとフォローできる教科書を目指した結果です。特に「高校生の美術1」は、生徒の発想や構想に刺激を与え、なおかつ先生方が説明しやすい作品を、幅広く、できるだけ大きく見せたいとの思いから、必然的にページ数が多くなってしまいました。

ただ、古今東西の名作が大量に載っているので、どんな授業にも必ず関連のある作品を見付けることができるはずです。題材に関連する作品を他のページからピックアップして使用する方法もあります。リンクマークの情報連携も便利です。



Q 実感的な鑑賞に結び付くページは？



教科書を開いたときに生徒が「おっ！」と思えるギミックを随所に散りばめています。

「高校生の美術1」掲載の「大きさ意識して」では、原寸大の作品を掲載しました。筆の筆致や色の重ね方など、細部までの鑑賞を可能にしています。「高校生の美術2」には、屏風作品を実際の屏風のように折り曲げ、机上に立てて見られるページを組み込みました。また「高校生の美術3」には、四角く穴を空けたページも。どれも体感を伴って教科書を“楽しめる”仕掛けです。



Q 電子黒板やタブレットを活用したいのですが。



教授資料付属のDVDには、映像作品、作家インタビュー、教科書の紙面PDFを収録。紙面PDFの作品画像を電子黒板やプロジェクターに映し、大きな画面で鑑賞すれば、作品のよさをより深く味わうことができます。

また「高校生の美術2」では、スマートフォンやタブレットを活用した授業提案として、動画編集やコマ撮りアニメーションの技法を掲載しています。さらに「高校生の美術1」P.98-99に掲載されている「Nirvana」は、ARアプリをダウンロードしスマートフォンをかざすと映像作品を鑑賞できます。



Q 他教科と関連付けた授業はできる？

もちろん可能です！

例えば美術史料は、世界史や日本史の文化史を参考にし掲載作品を選出しました。「高校生の美術1」の資料に掲載した炎色反応などは化学と、黄金比は数学と、それぞれ関連付けることができるでしょう。「高校生の美術3」のインフォグラフィックスは情報科と関連付けて授業展開することも可能ですね。

他教科との連携はもちろん、美術と社会とのつながりにも目を向けられるよう、様々な工夫を凝らしています。

Q 中学校の美術教科書との違いは？

中学での様々な学びを経て入学してきた高校1年生の足並みをそろえるためにも、技法のページは中学で学んだ内容の復習も兼ねて、できるだけ丁寧な解説を心掛けました。時間数が増える高校の美術では、取り組む内容の幅がぐっと広がります。油彩や日本画など、高校に入ってから取り組むことの多い技法も掲載しています。

また各題材ページは、高校生の発達の段階を意識して編集しました。すでにおなじみの作家や作品も、より深く、多角的な視点で見つめ直すことが可能です。



教科書検討の観点からみた特色



高校生の美術1 116-日文 美Ⅰ-305

美術の学習内容を幅広く紹介している154ページの教科書。題材は全国の授業実践を調査した内容を基に、定番題材から発展的な題材までバランスよく掲載している。タイトルや主文を端的で分かりやすい文章で示すとともに、各題材に“ねらい”を設け、生徒が意図を持って学習に取り組めるようにした。取り組まれることの多い表現題材では高校生の作品を掲載している。50ページを超える資料には、通史の美術史や、制作過程が丁寧に掲載されている技法ページを収録。原寸大で作品を掲載するページを設定し、生徒が実際の作品の大きさを体感して、作家の表現の工夫を読み取ることができるようにしたのも特徴。

高校生の美術2 116-日文 美Ⅱ-304

美術Ⅰで学んだことをより深めることができる教科書。題材ページでは、美術Ⅰとの連続性を意識し、生徒に制作や鑑賞時に着目させたい点を焦点化して提示した。表紙に現存の日本人作家の作品を起用したり、日本の前衛と呼ばれる作家を特集したページを設けたりするなど、現代美術の積極的な掲載も特徴。時代や地域に着目させた美術史や、美術Ⅱの発達段階を意識した技法ページもある。教科書を折り曲げることで実際の屏風と同じように作品を鑑賞できるページや視覚のトリックを生かした作品の掲載など、生徒の興味関心を引き出し、意欲的に授業に取り組めるように誘導する題材があるのも魅力。



高校生の美術3 116-日文 美Ⅲ-304

自分らしい美術を追求することを目指した教科書。今までに培った美術の学びを生かしながら、美術の見方や考え方を深められる構成になっている。作家の制作工程やインタビューを掲載することで、作家や自分自身の個性および独創性に着目させる題材や、歌舞伎の衣装や文化財の保存と継承について触れ、日本の伝統文化の継承や創造について考えさせる題材も設定した。掲載した作品の考え方や効果の違いなどを味わう手がかりとなるように、教科書のページに窓に見立てた穴を開けた鑑賞題材があるのも特徴。資料には、ポートフォリオの制作ページを設定。生徒が今までに制作した作品や自分自身を振り返るきっかけとなるよう配慮した内容も設けている。

高校生の美術1 教授資料

教授資料 収録内容・仕様

本体価格9,000円

教授資料(冊子)

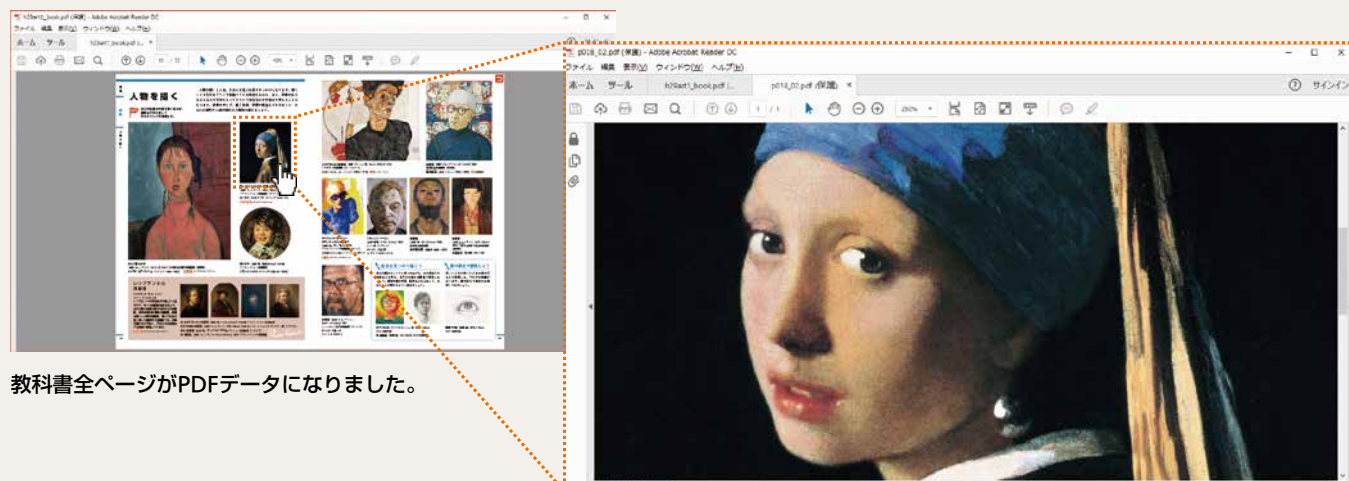
- 収録内容
指導案(教科書掲載全題材に対応)
教科書掲載作品解説
年間指導計画例
- 仕様
A4、フルカラー、204ページ

教師用デジタルデータDVD-ROM

- 収録内容
教科書紙面データ 作家インタビュー
年間指導計画例 技法動画
課題テスト 作品動画
ワークシート 図版、画像資料
指導事例資料



作品画像を拡大できる教科書紙面データ



教科書全ページがPDFデータになりました。

制作の流れが分かる技法動画



- 収録内容
水墨画／塑像(手)／彫像(にぼし)
鉛筆デッサン／静物デッサン／石膏デッサン
／水彩／油彩／日本画
アクリル絵の具／アクリルガッシュ絵の具

全220クリップ、230分を超える技法動画を収録しています。

作家の言葉に学ぶインタビュー動画



- 収録内容
山口 晃(絵画)
山村浩二(映像メディア表現)
島峰 藍(デザイン)
坂崎千春(デザイン)
- インタビュー動画それぞれに、ダイジェスト版(約3分)、完全版(約30分)があります。

高校生の美術2 教授資料

教授資料 収録内容・仕様

本体価格7,000円

教授資料(冊子)

- 収録内容 指導案(教科書掲載全題材に対応)教科書掲載作品解説 年間指導計画例
- 仕様 A4、フルカラー、148ページ

教師用デジタルデータDVD-ROM

- 収録内容 教科書紙面データ 年間指導計画例 課題テスト
ワークシート 指導事例資料 技法動画 作品動画 図版、画像資料
作家インタビュー:
木下晋 橋本麻里
永井秀幸 石田和人
村松亮太郎

インタビュー動画それぞれに、ダイジェスト版(約3分)、完全版(約30分)があります。



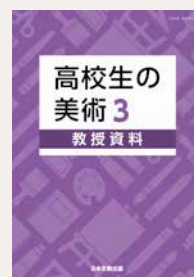
高校生の美術3 教授資料

教授資料 収録内容・仕様

本体価格 3,000円

教授資料(冊子)

- 収録内容
指導案(教科書掲載全題材に対応)
教科書掲載作品解説
年間指導計画例
- 仕様
A4、フルカラー、104ページ



日 文 の 教 科 書 ラ イ ン ナ ッ プ

文部科学省検定済教科書



高校生の美術1

116-日文 美Ⅰ-305

著作者 村上尚徳 横田 学 安田 淳 中村美知枝
末房貞樹 三井直樹 橋本典久



高校生の美術2

116-日文 美Ⅱ-304

著作者 村上尚徳 横田 学 安田 淳 中村美知枝
末房貞樹 三井直樹 中野 滋



高校生の美術3

116-日文 美Ⅲ-304

著作者 村上尚徳 横田 学
安田 淳 中村美知枝



高校美術1

116-日文 美Ⅰ-302

監修者 永井一正 木島俊介
著作者 原 研哉 近藤幸夫
末房貞樹 中野 滋
宇野義行 内藤正人
三井直樹 橋本麻里



高校美術2

116-日文 美Ⅱ-302

監修者 永井一正 木島俊介
著作者 原 研哉 近藤幸夫
末房貞樹 中野 滋
宇野義行 内藤正人
三井直樹 橋本麻里



高校美術3

116-日文 美Ⅲ-302

監修者 永井一正 木島俊介
著作者 原 研哉 近藤幸夫
末房貞樹 中野 滋
宇野義行 内藤正人
三井直樹 橋本麻里



Art and You 創造の世界へ

116-日文 美Ⅰ-303

著作者 小澤基弘 高須賀昌志
鈴木康広 田島達也



工芸Ⅰ

116-日文 工Ⅰ-301

監修者 小松敬明
著作者 長濱雅彦 川野辺 洋



工芸Ⅱ

116-日文 工Ⅱ-301

監修者 小松敬明
著作者 長濱雅彦 川野辺 洋

令和3年(2021年)度版 高等学校芸術科美術 内容解説資料

116 日文	教科書 記号・番号
	高校生の美術1 美Ⅰ-305
高校生の美術2 美Ⅱ-304	高校生の美術3 美Ⅲ-304

本書の無断転載・複製を禁じます。
デザイン:アルビレオ 表紙撮影:黒羽俊之 表紙撮影協力:坂本のどか
イラストレーション:東京矢印 青木俊輔 編集協力:有限会社リンカーベル
CD22222

日本文教出版 株式会社
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690